

議会せきがはら

第

150

号



「8月14日、グリーンウッドで夏まつりがありキャンパーたちでにぎわいました。」

2～3頁 ◆6月定例会・議会日誌

4～5頁 ◆一般質問

8頁 ◆委員会報告



6月定例会

6月10日～20日

一般会計補正予算 特別会計補正予算

2,356万5千円の追加
535万8千円の追加

補 正 予 算

☆平成26年度一般会計補正予算（第2号）

歳出の主な内容は

- ・人件費関係 **87万4千円**
- ・自治会集会施設設置事業補助金 **474万6千円**
- ・経営体育成支援事業費補助金 **232万2千円**
- ・留守家庭児童教室臨時職員経費 **135万9千円**
- ・PCB廃棄物処理費 **117万0千円**

☆平成26年度一般会計補正予算（第3号）

- ・駅前観光交流館建設事業 **10,000千円**
- ・公共下水道事業特別会計繰出金 **2,424千円**

こんな事が決まりました

平成26年第3回定例会は、6月10日から20日まで11日間の会期で開かれました。
本会議では一般会計、国民健康保険特別会計、公共下水道事業特別会計、水道事業会計、病院事業会計の補正予算について審議を行いました。

☆関ヶ原町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
人事異動による人件費408千円を追加するものです。

☆関ヶ原町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
人事異動による人件費42千円と、漏水に伴う下水道使用料の還付金572千円の合計614千円を追加するものです。

☆関ヶ原町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

浄化センターにおいて、「水質汚濁負荷量演算装置」の故障に伴う取替工事を行うため4,336千円を追加するものです。

☆関ヶ原町公共下水道事業特別会計への繰入金の変更について

施設管理費の増額により、一般会計からの繰入金を変更するものです。

変更前

212,909千円

変更後

215,333千円

☆関ヶ原町水道事業会計補正予算（第1号）

人事異動による人件費

28千円と、PCB廃棄物処理費719千円の合計747千円を追加するものです。

☆関ヶ原町病院事業会計補正予算（第1号）

医療情報システムの一括購入を国保補助事業として予算計上していたが、補助金の内定が見込めない状況となり、資金確保の支払い計画が確定できなくなったためリースに変更するものです。

☆平成25年度関ヶ原町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

平成25年度一般会計予算に定めた子ども・子育て支援新制度管理システム構築事業と公共土木施設災害復旧事業に係る歳出予算の経費を平成26年度へ繰り越したため、繰越明許費繰越計算書により報告を受けました。

☆平成25年度関ヶ原町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

平成25年度一般会計予算に定めた継続費の関ヶ原中学校建設事業に係る歳出予算の経費を平成26年度へ繰り越したため、継続費繰越計算書により報告を受けました。

契約関係

☆工事施行協定の締結

○協定の目的

自害峯こ線橋及び滝脇こ線橋耐震補強・補修工事

○工事箇所

関ヶ原町大字藤下・山中地内

○協定金額

76,140千円

○協定の相手方

東京都千代田区丸の内1丁目9番1号

東海旅客鉄道株式会社

新幹線鉄道事業本部長

関 雅樹

☆工事請負契約の締結について

○契約の目的

面整備（野上第5工区）工事

○契約の方法

指名競争入札

○契約金額

93,744千円

○契約の相手方

関ヶ原町大字関ヶ原

2490番地の113

株式会社 藤塚工務店

代表取締役 藤塚茂郎

☆動産の買入れ

○契約の目的

関ヶ原中学校什器

○契約の方法

指名競争入札

○契約の金額

26,946千円

○契約の相手方

養老郡養老町口ヶ島

344番地の1

株式会社 ニシワキ

代表取締役 西脇恭司

条例関係

☆関ヶ原町表彰条例の一部を改正する条例

表彰の種類をわかりやすく

明記することとし、議会の議

決要件を特別功労者のみとする

ものです。

☆関ヶ原町職員の配偶者同行休業に関する条例

国において、有為な職員の

継続的な勤務を促進するため

外国等で勤務する配偶者と外

国において生活を共にする配

偶者同行休業制度が創設され

地方公務員法の規定も改正さ

れたため、本町においても条

例を制定するものです。

人事案件

☆人権擁護委員の推薦

9月30日の任期満了に伴い、引き続き次の方が推薦された

ので、議会として適任である旨答申しました。

皆田 世雄 氏

（大字関ヶ原）

☆農業委員会委員の推薦

7月19日の任期満了に伴い、

議会選出による農業委員に次

の方を推薦しました。

三和 詳司 氏

（大字今須）

細川 良夫 氏

（大字関ヶ原）

議会活動日誌

〔5月〕

8日 第二回議会臨時会

12日 西濃地域食品衛生協会

関ヶ原支部総会

20日 町商工会総代会

20日 青色申告会通常総会

21日 町シルバー人材セン

ター通常総会

25日 町民ソフトミニバレー

ボール大会

26日 議会運営委員会

27～28日 全国町村議会議長

会研修会（東京）

29日 不破郡正副議会議長会

30日 町ゲートボール・ペタ

ンク大会

〔6月〕

2日 岐阜県町村議会議長会

8日 臨時総会

8日 町民グラウンドゴルフ大

会

8日 町青少年健全育成大会

10日 第三回議会定例会（初

日）

19日 議会運営委員会

20日 第三回議会定例会（最
終日）

22日 郡消防線法大会

〔7月〕

3日 交通安全推進協議会

4日 西南濃町村議会議長会

17日 岐阜関ヶ原線定期総会

24日 東海環状自動車道建設

促進岐阜県西部協議

会、国道21号・22号合

同総会

25日 日置市・関ヶ原町ス

ポーツ少年団結団式

29日 町民納涼ソフトボール

大会



あなたも議会を
傍聴してみませんか。

9月定例会初日は

9月9日（火）

開催の予定です。

3人の議員が町政について一般質問を行いました。

第3回定例会

小谷 清美 議員

1. 中山間地域総合整備事業について
2. 町所有のマイクロバス、ふれあいバスの運行管理について

田中 由紀子 議員

1. 少子化対策の強化として保育園の存続を
2. 留守家庭児童教室の拡充について
3. 学校給食調理員の体制について

川瀬 方彦 議員

- ・ 関ヶ原病院の経営改善について

一般質問 町政を問う



小谷 清美 議員

問

質問1

中山間地域総合整備事業について

岐阜県は、平成28年度から32年度の5カ年計画で中山間地域総合整備事業を計画しているが、町内でも過去の補助事業において集落道や農道整備、用水工事、導水路工事等の実施など、各種事業が完成している。そこで、平成28年度からの県の中山間地域総合整備事業について伺う。

①この事業の全体事業費はいくらか。

②町内での対象地区はどうか。

③平成28年度からの実施に向けて、各地区からの要望は

答〔町長〕

どのようなとりまとめなのか。

④農業生産基盤整備事業としてどんなメニューがあるのか。

⑤農村生活環境整備事業のメニューは何か。

⑥受益者負担はあるのか。

⑦県事業の採択にむけての今後のスケジュールを示せ。

①今のところ未定である。

②農業振興地域内が対象である。

③とりまとめについては、中山間地域直接支払いの各協定、各農事改良組合、各自治会を通じ要望のとりまとめを行っていく。

④メニューについては、農業用の用排水施設整備、農道整備、圃場整備などがある。

⑤生活環境整備事業のメニューについては、農業集落道の整備事業、防火水槽の整備、融雪装置の設置などがある。

⑥農業生産基盤整備事業に該

再質問

当する事業については、関ヶ原町土地改良事業分担金賦課徴収条例に基づき分担をいただくことで、全体の約6%が個人負担となる。農村生活環境整備事業については、負担はない。

⑦7月中を目途に要望のとりまとめを行い、事業採択に必要な受益面積が60畝以上の要件を満たせば27年度の町の農村振興基本計画を策定し、県知事宛に実施計画の策定申請を行っていくことになる。

答〔町長〕

中山間地域総合整備事業の審議会があるが、今後の取り組みについて、審議会委員の選任をし、この事業がスムーズにいくよう審議する必要があると思うがいかがか。

中山間施設総合整備事業推進協議会の要綱は定めてあり、10名以内の委員を選任す

る規定は設けてあるので、今後、委員の選任をしていくことになる。

質問2 町所有のマイクロバス、ふれあいバスの運行管理について

答【町長】

は例規集にも何の運転規程も見当たらないが現状はどうなっているのか。

問 町が所有するバスの運行については、多くの児童や幼児又町民を乗せるために、乗客の安全を第一と考え細心の注意が求められるが何う。

①それぞれのバスの始業点検はどの様に行っているのか。

②運転者の健康管理や健康状態の把握はどうされているのか。

③運転者のチェック（ヒヤリハットがあれば記録しているのか）

④各種団体や審議会等の使用条件と許可内容、運転者の下命の現状はどうなっているのか。

⑤町所有のマイクロバスの貸出等については規程があるが、ふれあいバスについて

①毎日、目視により点検し毎月一回の点検整備記録簿のチェック項目に従い点検整備を行っている。

②スクールバス、病院送致バスについては、町の臨時職員であるので毎年健康診断を受けさせている。健康状態が悪い場合は、事前に申し出でもらい代替の職員が運行している。

ふれあいバスは、シルバーの派遣運転手であり毎日シルバー職員が就業前に面談し健康状態の確認をしている。町のマイクロバスの貸出による運転手については自己管理責任としている。

③運転日報には、発車時間、帰車時間、走行距離等の記録欄でチェックしている。ヒヤリハットについてはあった場合に報告をしてい

る。

④各種団体等の使用については、目的により運転手は担当課の有資格者を優先して従事させている。一般団体等への貸出については規程があり、日帰りで、走行距離は概ね200キロ以内を基準とし使用区域、使用時間、事故報告等規定している。許可内容については、許可条件として法令遵守、転貸禁止、損害破損事故については使用者責任等決め

⑤ふれあいバスの運行規程について、24年度から町の単独事業として試行のまま運行している。現在運行事業が定着してきていることで、規定の整備をして正式な事業と位置づけをしている。

や賠償責任についてはどういう取り決めがあるのか伺う。

② 町有自動車の管理規程によると、事故があった場合損害賠償は、町が加入する共済制度により支払われる賠償金の範囲を限度で町が負担するとあるが、シルバーに委託した場合、賠償責任の取り決めはされているか伺う。スクールバスの臨時職員とふれあいバスの運転代行ともに取り決めはなされているか伺う。

答【町長】

① 運転者については安全運転管理者を設けて対応している。賠償責任については主として町に全て責任があるのは当然である。

② 故意または重大な過失による場合は、町からも求償はあり得る。

シルバーとの契約については、覚書により雇用者責任という形の中で第一義的に

町が責任を負うとしている。安全運転の点検は大切であり事前に皆集まった段階で対面で確認している。マイクロバスについては、時間的に早朝でありそこまではしていない。



田中 由紀子 議員

質問1 少子化対策の強化として保育園の存続を

問

入園者が少ないから保育園を休園にするという話があるが、この問題はすぐに結論を出すべきではないのではないか。今必要なのは、少子化対策であり園を減らすことではない。働く親にとって地域にある保育園は欠かせな

い。また、北保育園は、耐震基準日以降に建設され西や東保育園よりも新しい。休園は再考して少子化対策の強化を図るべきではないか伺う。

答〔町長〕

近年、関ヶ原町出生数は減少の一途をたどっており来年度北保育園の入園児数は10名程度と予想している。園児数の減少により、給食費については仕入れ数が少なく一人あたりの副食費はどの園よりも一番高く、保護者会の負担は大きくなると予想され行事の実施にも支障が出ると考える。保育士の確保も厳しい状況となり保育所を統合し効率のよい保育を実施することで未満児保育や延長保育等の充実させることも検討していきたい。今後出生数の動向をみながら幼保一元化も視野に入れ慎重に検討していきたい。

再質問

休園の基準の根拠を伺う。

西保育園一園で行っている長時間保育を各園で行った場合、園児数はそれぞれ何人になるか伺う。

次世代育成支援行動計画の中での休園は、どのように位置づけられているか伺う。

答〔町長〕

特段休園にするための人数基準はない。保護者会等の園の行事にいろんな支障が出てくるといふ実情を踏まえ検討するということである。長時間保育を各園で行った場合の園児数はつかんでいない。次世代育成計画支援行動の中で位置づけについては、把握していない。保育園というのは幼少期における集団生活の中で他の子供と交わることも大事であり、多くの人の中で元気に育って欲しいということである。

再々質問

運営経費という点では確かに支障があるが、少子化対策

に逆にアピールできる材料にはならないか。

一時保育について、長時間保育については一園だけで済ますのか伺う。結論を急がずに広い視野で議論をしていたきたいがいかがか。

答〔町長〕

一時保育について、現在の職員数では今時点でもぎりぎりの中で、ひとつにまとまればそれだけの職員数で一時保育等に回ることができるのではないかと考えている。統合ができれば一時保育も対応させていただけると考えている。耐震問題について、関ヶ原町は積雪基準がありどの園においても安全という基準ではないので将来的には補強なり建て替えも必要となりその時点では幼保一元化、全部を統合とする施設整備を図り財政的な面からも考える必要がある。

質問2

留守家庭児童教室の拡充について

問

昨年成立した子ども・子育て支援法に位置づけられた留守家庭児童教室について伺う。
対象年齢を引き上げることについての考えは？

イ 学校休業日の開設時間の延長についての考えは？

ウ 長期学校休業日に限定した教室の開設についての考えは？

エ 静養スペースの確保についての考えは？

オ 主任指導員の処遇改善についての考えは？

答〔教育長〕

ア 4年から6年までの子供を加えることについて施設面を考えた時、幼稚園の教室を使っている現在では、大変広さ的に厳しいと考え、すぐに対応することは考え

ていない。

イ 現在、帰りの時間について、特に不都合があるとは聞いていない。現在午後6時30分まで勤務している状況で朝も早い勤務となると指導員の確保が難しいと懸念している。

ウ 現在使用の教室は幼稚園2教室で、スペース的に教室を開設することは難しい。また指導員の確保も難しくなる。

エ 活動スペースを多くとりたいため、現在は、静養スペースを設けてはいない。

オ 教室の拡充についてはすべての指導員の仕事量が大変多くなり責任も多くなる。正職員の登用は考えていない。

再質問

難しいだけで進んでは子育て支援が遅れてしまうのでどうやって施設面を確保したらよいか考えてほしいがいかがか。

答【町長】

子供が少ない状況の中で、今後幼保一元化に向けて取り組みが必要だと考えている。

質問3
学校給食調理員の体制について

問

学校給食調理員の体制は、最低一人は正職員が必要ではないか教育長の考えを伺う。臨時職員を引き上げる考えはあるか。その場合、選考基準客観的なものはあるか伺う。

答【教育長】

一人ひとりの調理員の責任感をもって調理することが大切で正職員の確保より責任感のある臨時職員の確保に努めたい。臨時職員を正職員にすることは考えていない。

再質問

以前、アレルギー食等で子供さんが死亡した事件があったが、調理員の中でも責任が

重くなってくるがその対応はどのようにされているか。臨時職員ばかりでなくリーダー的な正職員が責任をもつ形が望ましいのではないかと伺う。

答【町長】

将来を考えたとき、人数が減った時には学校給食の是非を検討することにもなる。職員については、今の状況で、できるだけ処遇も対応させていたでくこととご理解いただきたい。

答【教育長】

アレルギーの対応について、食物アレルギー、アナフィラキシーショックについては、不破郡両教育委員会主催で研修会をし、それぞれの勤務場所で伝達講習を行っている。食物アレルギー、エビペンの扱い方等についても事故のないよう取り組んでいる。

再々質問

子供の命を預かる仕事とい

うことでは、正規の職員が必要で、採用試験も当然あると思うが町長の考えを伺う。

答【町長】

仮に正職員の採用について、現在の臨時職員が上に上がるという保証はない。正規の採用の形をとるのが当然である。



川瀬 方彦 議員

質問1
関ヶ原病院の経営改善について

問

昨年11月関ヶ原病院の企業会計を本年4月から一部適用から全部適用にするための意見交換会が実施され、さらにもう一年かけて議論をし準備

をするとの結論であった。また町長は全部適用に向けて、職員を病院へ異動をさせているが、翌年職員を戻させている。言葉と行動が違っている。言葉と行動が違っている。思うが次の点について伺う。

一、昨年11月から現在まで全部適用に向けてどの様に進めてきたのか。今後関ヶ原病院の事業会計をどうされるのか。いつまでに実施されるのか伺う。

電子カルテ更新事業において、今回の補正でリリースへの変更は必要経費が増えることになるが、現状の分析、課題を明確化した抜本的改革はどのようにいつまでに実施されるのか伺う。

職員異動については、全部適用への準備事務の整理を踏まえ、役場との連携で対応し、限られた職員での配置を考える上での措置である。今後の体制移行に向けての準備作業に再度派遣することもあ

答【町長】

ることをご理解いただきたい。全部適用の移行を翌年度に延期することにしてから、現状における課題の洗い出し、入院、医療体制の見直しと、在宅医療・介護とのより一層の連携のあり方など、地域包括ケアシステムの構築による病院運営の立て直し方策を検討しているところである。

事業会計については、当面、公営企業法の全部適用による運営を行っていく準備を進めている。できれば、平成27年度には全部適用として病院経営の健全化と医療と在宅との連携による地域包括ケアの推進を託していきたいと考えている。電子カルテ更新については、経費がかかることについては非常に苦しい状況なのか、何とか更新したデータ管理等により、より効率的な運営に役立てていきたいと考えている。

第2次病院改革プランの策定が遅れているが、その中で、外部環境としては、医療から

介護へ、施設から在宅へとい

う方向性の中、医療機関にお
いては、病院完結型医療から
地域完結型医療への移行が求
められ、地域一帯で地域住民
を守るシステムを構築する必
要があるとしている。また、

内部環境としては病床の稼働
率を上げる方策として、大垣
市民病院等の後方支援病院と
して転院患者様を積極的に受
け入れる体制を整備している。

今後は、第2次病院改革プ
ランに基づき経営の効率化と
連携の強化を図り、経営の健
全化を目指し、関ヶ原病院の
改善を図っていききたい。

再質問

① 病院内で現状分析の結果、
各部、各科における収支決
算を把握されているか。

② 病院改善の一つとして、外
部からの有識者やコンサル
会社の肩や病院アドバイ
ザー等参加して、経営改善
委員会を本年度中に設立す
る必要があると思うがい

か。

③ 機器メーカー及びリース会
社との商談に町長自身も参
加されたのか。もし不参加
の場合、誰が商談し、誰が
積算したのか。

④ 病院内に地域包括ケアシス
テムを導入した場合初期投
資の額はいくらになるか。

今後、やすらぎはどのよう
になるのか。費用対効果は
どのように試算されている
か。

⑤ 病院に対し、現状のまま毎
年2億5千万円を出資し続
けることが緊迫している町
財政の中でできるのか。

⑥ 町民にとって病院は地域医
療の要であるが、実質公債
費比率が大きく上昇し、大
きな問題になると思われる
が、経営方針を十分議論し
方向性を明確にする必要が
あるがいかがか。

答〔町長〕

① 直近の数字はまだ出ていな
いので細部の協議はしてい

ない。

② 私と病院共に設置は必要で
あると考えているところだ
がある。

③ 商談には出ていない。担当
課で行っている。

④ 毎年のこれだけの負担は続
かないことは承知で、町か
らの支出が減る中でいかに
改善していくか検討してい
るところである。

⑤ 金が回らないことで起債を
行えば実質公債費比率が上
がることは懸念される。経
営改善に取り組んでいる病
院は町民の安心・安全の施
設であるため、地域医療等
を守らなければならないと
いう位置づけも十分考え、
いかに健全化を図っていく
のか方策を出さねばならな
いと考えている。

答〔病院事務局長〕

④ 病院とやすらぎが一体と
なっている在宅の連携、訪問看
護、検診業務等連携を行う
中で、関ヶ原の地域包括を

進めていくと理解してい

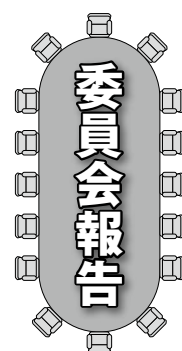
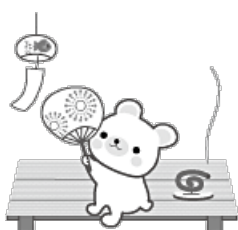
る。費用対効果は試算して
いないが、在宅との連携を
深めることでそれぞれの部
門の効果は上がると思うが
シミュレーションは行っ
ていない。

再々質問

今年度、最重要課題と考
えていることは何か？

答〔町長〕

病院も重要な問題である
が、ほかの問題も全て重要で
あると認識している。



議会運営委員会

5月26日

6月議会定例会の会期日程
等について協議決定した後、
総務課長より提出予定議案の
説明を受けた。その他として
9月議会定例会の開催予定日
について協議した。各委員よ
り提出議案について随時質問
を行い、適切な回答を得た。

また、6月19日には、

- ①「集団的自衛権の行使容認
に関する意見書について」、
- ②「農協改革に関する意見書
について」、③「手話言語法
制定を求める意見書につい
て」を議題とし審議を行った。
- ①と②は現段階で裁決は困難
と判断し議会への上程は見
送った。
- ③については、議長預かりと
した。